

平成26年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 52

千葉県立松戸向陽高等学校 全日制の課程 福祉教養科

1 期待する生徒像

基本的生活習慣が身につけており、次のア、イ及びウの要件を具備する者

ア 福祉に対する興味・関心が高いこと。

イ 向学心をもって学習に臨み、ボランティア活動等にも意欲的に取り組む強い意志があること。

ウ 福祉関連分野への進路希望が強く、介護福祉士の国家資格取得への意欲が高いこと。

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う学力検査5教科の得点の合計
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書の記載事項
(3) 面接	検査第2日目の面接の結果
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」の記載内容

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査（500点満点）

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点満点）の合計により評価する。

(2) 調査書（205点満点）

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	①全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 ②評定1のある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3年間皆勤を含め、欠席日数が3年間で10日未満の場合は評価する。 ②年間の欠席が10日以上または3年間の合計が20日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	①〇の数に応じて評価する。 ②〇の数が1つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、資格、ボランティア活動、その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について評価する。
オ 総合所見	特に優れた内容について評価する。

(3) 面接検査（４０点満点）

評価項目	評価基準
面接	志願理由書の内容を踏まえ、面接官３名で個人面接を実施し、次のア～オの観点から評価する。面接官の各評価をもとに、面接の総合評価を数値化する。 ア 志望動機が明確かつ具体的に述べられており、その内容も適切である。 イ 入学後の抱負が明確かつ具体的で、強い活動意欲がみられる。 ウ 将来の進路目標が具体的に述べられている。 エ 応答内容から、期待する生徒像に定める要件を十分に具備している。 オ 身だしなみが整っており、面接態度が優れている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願の理由	本学入学の意志について確認し、総合的に判断する際の参考とする。
自己アピール	特に優れた内容、実績等については、総合的に判断する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の期待する生徒像に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接の結果」、「志願理由書」等を総合的に判断して入学者選抜を行う。

「学力検査の成績」、「調査書」、「面接の結果」の得点の合計点により順位をつけ、その他の資料も踏まえて、特に問題のない者から入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合は、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分留意する。

イ 入学許可候補者内定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の範囲内であることを確認する。